

香南市健康推進員協議会

— 香我美支部 —



目標は、「高知県で一番元気で健康な香南市になろう!」
市健康推進員協議会(寺村重光会長)では、280人の健康推進員さん
たちが市民の健康意識を高めようと工夫し、各地域でさまざまな活
動を進めています。今回は香我美支部の取り組みを紹介します。

ごみ集積所に看板

「龍馬も心配しゅうぜよ」「健診に行こう」と漫画のキャラクターが呼び掛けています。香我美町の徳王子地区と西川地区のごみ集積所の横には、選挙の掲示版を譲り受けたという手作りの看板が、でんと立って健診へのお誘いです。

「ここならかなり人目に付くと思って」というのは西川地区長の岡本八重子さん。看板には香南市の保健事業の年間日程表や特定健診受診の手順のほか、各種がん検診の検査法、検査料金まで盛りだくさんの情報が書かれています。

「市役所から来るお知らせの紙は、知らん間にようどつかへいくけん、これなら、いつでも分かるし忘れんねえ」
住民の評判もなかなかいいようです。

近所で声を掛け合って

市の健康推進員協議会は各町ごとに支部組織があり、香我美支部(中邑巨子支部)長は6地区に分かれ、各地区で健康推進員が生活改善推進員と協力し「健康を守る会」として活動しています。

西川地区の日常的な取り組みの中心は「声掛け」。岡本さんは環境美化のボランティアグループ「ひまわり会」にも属し、花壇の世話をする時や地域で「キブリ退



治のホウ酸だんごを作る時など、「健診行った?」「今度一緒に行かん?」と、世間話のついでに声を掛けます。隣近所の人の顔が見えにくいという時代の流れは、昔ながらの人付き合いが残る西川地区にも少しずつやって来んでいます。

健康づくりに限らず、子育てや環境美化、福祉、防犯、防災なども市民同士のつながりが鍵。井戸端会議のような「ミニ」セッションの場が少なくなっている今だからこそ、「住民のふれあいの場づくりを考へることが推進員の仕事のひとつ」と、岡本さんは強調します。

健康こそ財産!

健康は誰にとっても最も大切な財産であり、また、自分の健康は自分で守っていかなければなりません。

健診はそのための重要な手段の一つです。山南地区(宮谷伊佐子地区)長で、血圧講習会などが開かれました。

健康意識を一人ひとりが持つと同時に、隣近所へ地域へ、やがて香南市全体へと広がっていけば…と推進員さんたちは口を揃えます。

このまちが「高知で一番元気で健康」と言われることも夢ではありません。

編集後記

▼暑中お見舞い申し上げます。
お祭りシーズン到来! イベント満載の8月です。水分補給や睡眠不足に注意して、元気に楽しくお過ごしください!

▼梅雨が明けたら蝉時雨。

朝から蝉とりにワクワクしていたのは子ども頃。迫る夕切りに、埋まらない紙面。この連日、秘書広報係は出勤前から校了を急がすセミが怖い(汗) 広報8月号出来ました!(井)

▼地域の祭りは元気で。

カメラを向ければ笑顔がいっぱい。フアインダー越しにどっさりもらった元気も校了とともに電池切れ…。お祭り特集後編もお楽しみに!

▼地域の元気を届けます。(井)

▼平和って何だっけX2!?

誰もが抱く素朴な疑問。人それぞれが感じる平和があります。「お腹いっぱい」は食べられること「世界中の争いの原因は「食」にあると思います。何不自由なく、日々食べられることへの感謝と幸せをいつも感じていたい。(S)

《広報へのメール》

kounou@city.kochi-konan.lg.jp

《香南市のホームページ》

http://www.city.kochi-konan.lg.jp